デジタルレベルチェッカー LCV3
追加機能について

ご使用になる前に、必ずお読みください

製品向上のため、デジタルレベルチェッカーに搭載しているソフトウェアの仕様、機能を変更しました。付属の取扱説明書、かんたん取扱説明書と本書で異なる箇所があります。仕様、機能の変更によるもので、本書の内容が優先されます。

●追加・変更機能の内容は、Ver1.30で対応しています。Ver1.20以前を使用している場合、下記当社ホームページから、最新のソフトウェア更新ファイルをダウンロードしていただき、バージョンアップを行なってください。
http://www.maspro.co.jp/support/checker/index.html

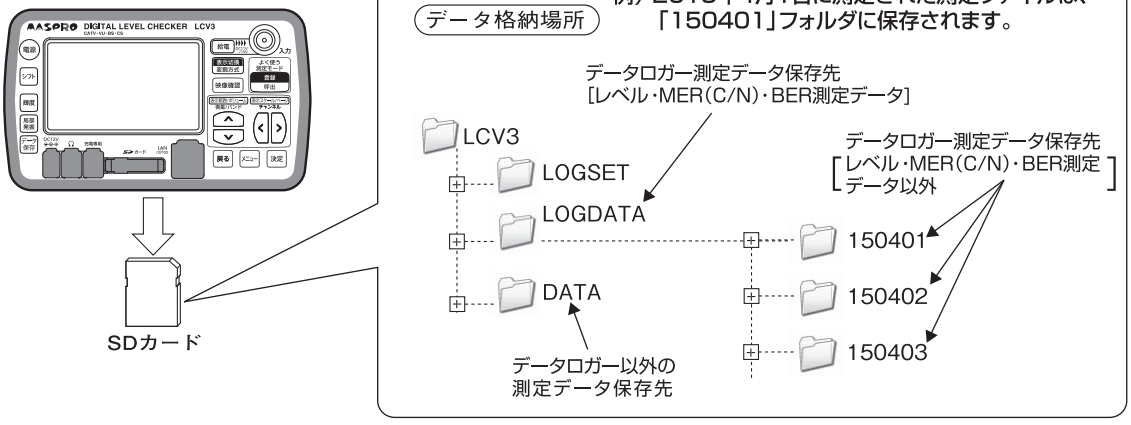
追加・変更機能

●データロガー 測定データの保存先 (p.1)
●データロガー 測定データのファイル容量 (p.2)
●スカパー！プレミアムサービス光の測定 (p.2 ～ 3)
●スカパー！プレミアムサービスの映像確認 (p.3)
●外部制御 SNMP機能 (p.3)
●画質マークの表示 (p.4)

データロガー 測定データの保存先

Ver1.20以前では、レベル・MER(C/N)・BER測定データは一回の測定ごとに、ひとつのCSVファイルを作成しましたが、Ver1.30では、個々のレベル・MER(C/N)・BER測定データを結合し、ひとつのファイルを作成するため、データ解析がしやすくなりました。
これにともない、データロガーの測定データの保存先が一部変更になりました。

●レベル・MER(C/N)・BER測定データ　：「LOGDATA」フォルダに保存されます。
ファイル名は、測定を開始した日付・時間となります。
●上記以外の測定データ　：「LOGDATA」フォルダ内の日付ごとに自動作成されたフォルダに保存されます。



●データロガー以外の測定データは、すべて「DATA」フォルダに保存されます。

データロガー 測定データのファイル容量

データロガーで保存される、測定データファイル1個あたりの容量の目安は以下のとおりです。
表のファイル容量を目安に、必要なSDカードの容量を算出してください。
本体の画面でSDカードの空き容量とデータ取得可能日数を確認することができます。
本体の表示は、取扱説明書(p.74)をご覧ください。

測定項目	ファイル1個あたりの容量（目安）	データロガー1日分の例	
		ファイル数	総容量（目安）
レベル･MER･C/N･BER	3000KB ※	1個	3MB
コンスタレーション	30KB	679個	20MB
遅延プロファイル	30KB	679個	20MB
スペクトラム測定	25KB	679個	17MB
映像（静止画）	300KB	679個	200MB

※レベル･MER･C/N･BERの測定結果は、ひとつのファイルに保存されるため、データロガーの期間により変化します。

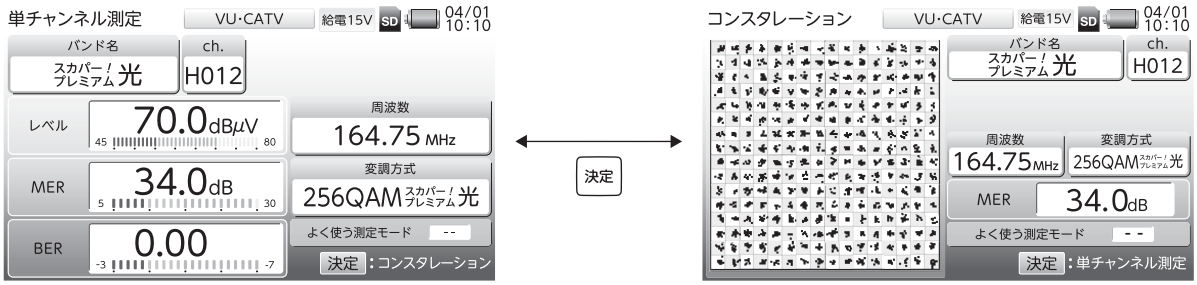
- 表のすべての項目を、7チャンネル･15分間隔で1日（24時間）測定した場合、SDカードには、約2700個のファイルが作成され、約260MBの空き容量が必要です。
- データロガーの設定や受信状況により、ファイル容量は変化します。

スカパー!プレミアムサービス光の測定

スカパー!プレミアムサービス光の測定機能を追加しました。
信号レベル、信号品質（MER、BER）の測定は下記の手順で行います。

① 電源 押す
② メニュー 押す
③ ▲▼ で「2.単チャンネル測定」を選び、決定 を押す
④ ▲▼ で「VU･CATV」を選び、決定 を押す
⑤ ▲▼ でバンド名「スカパー!プレミアム光」を選択する

単チャンネル測定 測定画面の表示などは、取扱説明書(p.49～52)をご覧ください。



単チャンネル測定画面　　コンスタレーション画面

決定 を押すたびに、上記のように画面が切換わります。

給電 ：ブースターへの電源供給をON/OFFします。
- ブースターへ給電しないときは、必ず「OFF」にしてください。

データ保存 ：測定データを保存します。

- スカパー!プレミアム光バンドの変調方式は、「256QAMスカパー!プレミアム光」に固定されます。
- スカパー!プレミアム光バンドは、放送局名表示機能、映像確認機能はありません。

- スカパー!プレミアム光は、スカパー!プレミアムサービス光の略です。

多チャンネル測定

多チャンネル測定メニュー画面で、「VU･CATV」を選び、 でバンド名を「スカパー!プレミアム光」にしてください。
多チャンネル測定の操作方法は、取扱説明書(p.63～66)をご覧ください。

スカパー!プレミアムサービス光の測定項目

項目	信号レベル	MER※	C/N	BER	コンスタレーション	スペクトラム	遅延プロファイル	映像確認
単チャンネル測定	○	○	○	○	○	×	×	×
多チャンネル測定	○	○	○	○	×	×	×	×
データロガー	○	○	○	○	○	×	×	×

※ ユーザー設定により、項目名MERをC/Nと表示できます。

- 「スカパー!プレミアム光」バンドでは、チャンネルが「H△△△」で変調方式が256QAMのみ測定できます。
  その他のチャンネルを測定するときは、 でバンドを変更してください。
  スカパー!プレミアムサービス光で、変調方式が64QAMのチャンネルは、測定したい周波数のバンドで、変調方式を「CATV QAM」に設定し測定してください。
- 測定チャンネル登録(VU･CATV)で必要なチャンネルを設定すると便利です。
  1つのバンド名に異なるバンドのチャンネルを登録できます。
  (例 CATVとスカパー!プレミアム光など)
  測定チャンネルの登録方法は、取扱説明書(p.89～95)をご覧ください。

スカパー!プレミアムサービスの映像確認

スカパー!プレミアムサービスの映像確認機能で、無料放送に対応しました。
ソフトウェアの更新を行なった後、再起動すると映像確認チャンネルは、
以下のチャンネルに変更されます。

●JCSAT-3A：J21　●JCSAT-4B：J8

ひとつの衛星の中に、無料放送チャンネル(トランスポンダ)が複数存在した場合、いちばん番号が若いチャンネル(トランスポンダ)が選択されます。また、同じトランスポンダ内に複数の無料放送局が存在する場合、3桁チャンネル番号が一番若い放送局が選択されます。

例
- JCSAT-3Aの中に無料放送チャンネル(トランスポンダ)がJ1、J3 、J5の3チャンネル存在している場合、J1が選択されます。
- 同じトランスポンダ内に無料放送局が、ch.500、ch.600、ch.700と3チャンネル存在している場合、ch.500が選択されます。

外部制御 SNMP機能

SNMP機能で取得可能な測定項目を追加しました。
レベル･MER･C/N･BERについては、本体操作で測定可能な項目は、すべてSNMP機能からも行えます。
コンスタレーション･スペクトラム･遅延プロファイル･映像確認(静止画)は、SNMP機能から取得できません。
SNMP機能の操作方法は、取扱説明書(p.138)をご覧ください。

- SNMPマネージャーで使用するMIB定義ファイルはVer1.30を使用してください。 MIB定義ファイルが古い場合、正常に作動しません。

●スカパー!プレミアム光は、スカパー!プレミアムサービス光の略です。

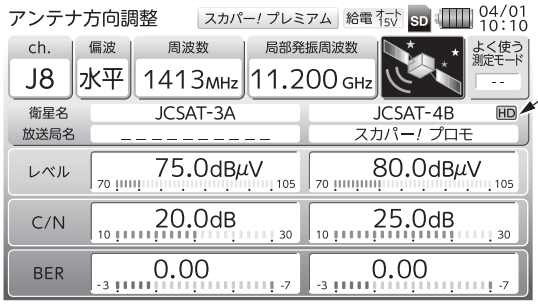
画質マークの表示

スカパー!プレミアムサービスの測定画面で、測定しているチャンネルの画質マークを表示します。

対象範囲

- ●アンテナ方向調整内のスカパー!プレミアム[取扱説明書(p.26～28)]
- ●単チャンネル測定内のスカパー!プレミアム[取扱説明書(p.45～48)]
- ●データロガー測定時のスカパー!プレミアム[取扱説明書(p.68～77)]

アンテナ方向調整画面

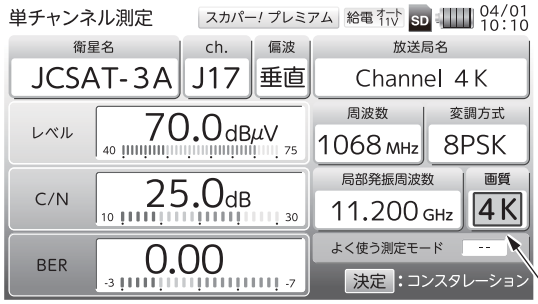


画質マーク

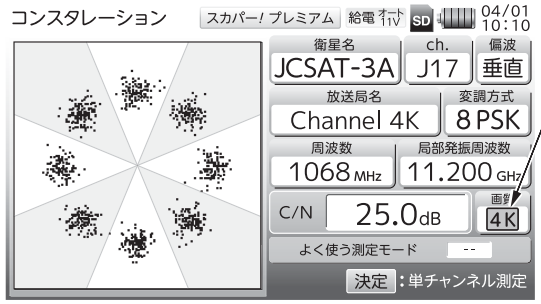
測定しているチャンネルの画質(画角)によって、4K、HD、SDのいずれかが表示されます。

- ●入力信号の信号レベルやC/Nが極端に低いときや、受信している電波がスカパー!プレミアムサービス以外のときなどは、画質マークは表示されません。

単チャンネル測定画面



コンスタレーション画面



画質マーク

測定しているチャンネルの画質(画角)によって、4K、HD、SDのいずれかが表示されます。

- ●入力信号の信号レベルやC/Nが極端に低いときや、受信している電波がスカパー!プレミアムサービス以外のときなどは、「ー」が表示されます。

- ●放送局名を切換えると、画質マークが切換わることがあります。放送によって画質(画角)が異なるため、放送局名の切換え方法は、取扱説明書(p.47)をご覧ください。

●スカパー!プレミアムは、スカパー!プレミアムサービスの略です。